

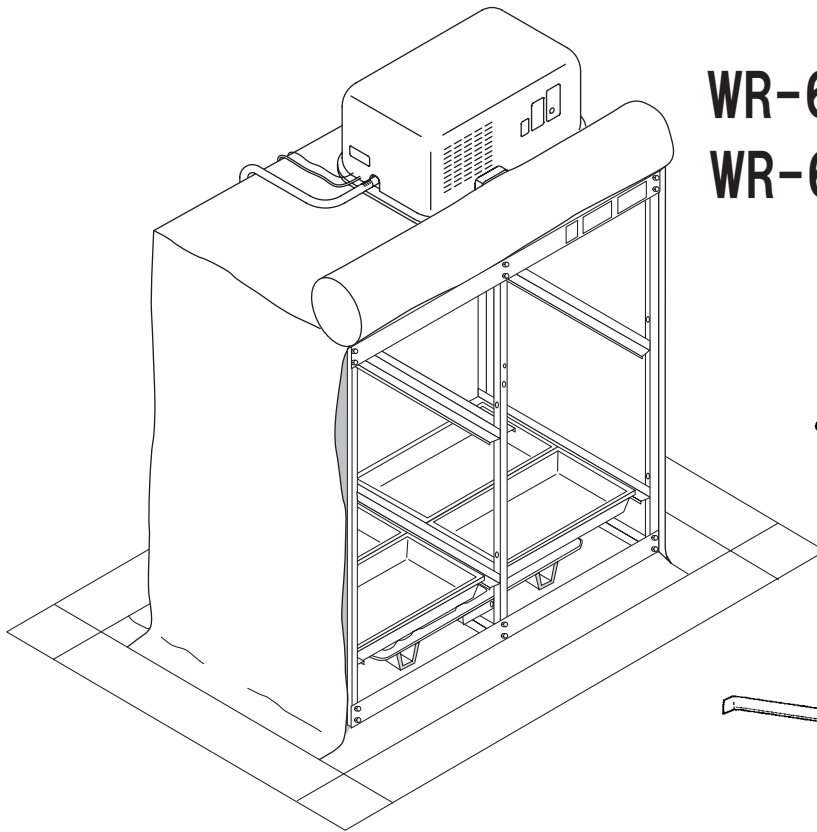
# 組立要領書

**KEIBUN**

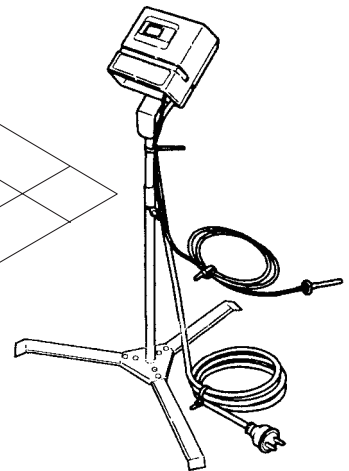
冷房器付

# 野菜発芽器

この要領書はWR本体（フレーム及び周辺機器）の組立設置要領になります。  
機器の操作・取り扱いについては電子サーモに同梱の取扱説明書をご覧ください。



WR-60CL-SBB  
WR-60CHL-SBB




## 安全のために

この製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず  
本取扱説明書をお読みください。

お読みになった後も必ず製品の近くに、保管してください。

# 冷房器付野菜発芽器を お買い上げいただき、ありがとうございます。

## はじめに

- この「**組立て方**」は **野菜発芽器** の組立方法と注意事項について掲載してあります。  
ご使用前には必ず、この「**組立て方**」をお読みのうえ、正しく組立てていただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになったあとも必ず**大切に保管**してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この「**組立て方**」を製品に添付してお渡しください。
- この「**組立て方**」を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または特約店、販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更をおこなうことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げ店またはお近くの特約店、販売店にご相談ください。
- 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



### 警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



### 注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- 育苗の際の取扱いについては **野菜発芽器** の取扱説明書をよくお読みの上、作業をしてください。  
また取扱説明書には安全上のポイント「**安全に作業をするために**」を記載しています。使用前に必ずお読みください。

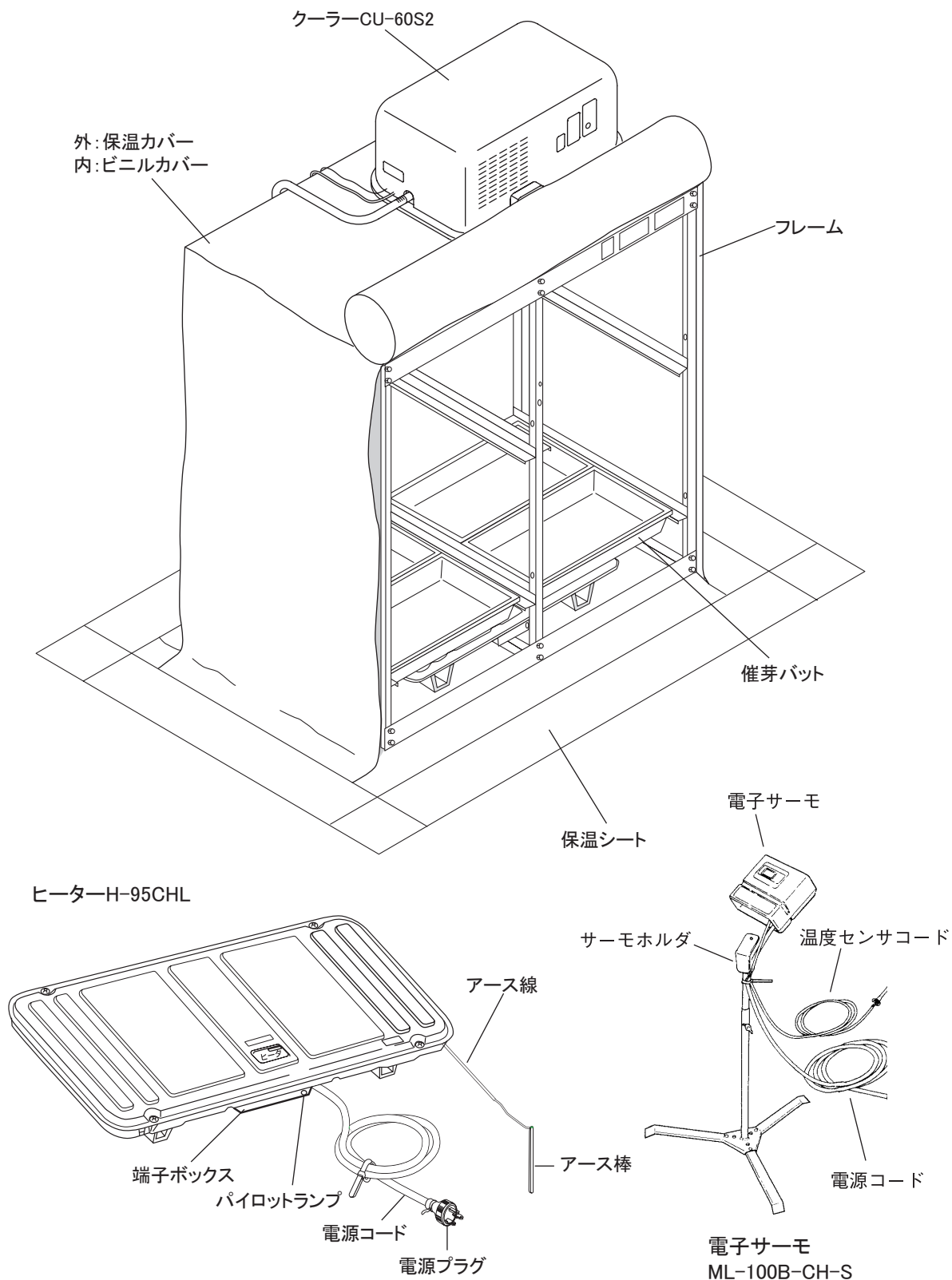
# もくじ

---

1.各部の名称 . . . . .	1
-------------------	---

2.設置要領 . . . . .	2
------------------	---

# 各部の名称



# 設置要領

## 設置時の注意事項

本機を設置する際には以下の事に注意してください。

(2) 床が丈夫で水平な場所に設置する。

不安定な設置は、振動や騒音を増大させる原因となりますので、必ず水平な場所に設置してください。

(3) 雨水の直接かからない場所に設置する。

必ず屋内に設置してください。雨水がかかると、機器の電気部分に不具合が生じる場合があります。

(4) 直射日光の当たらない場所、熱気の少ない場所に設置する。

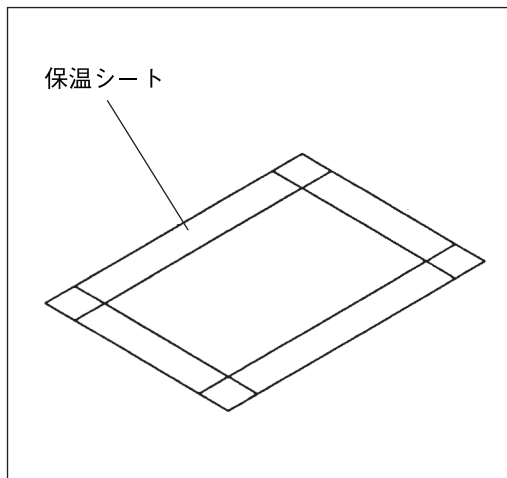
直射日光が当たる場所やハウス、その他熱源のそばでは、温度センサーの誤動作及びクーラーの能力が低下する可能性がありますので使用しないでください。

(5) 風通しのよい場所に設置する。

風通しが悪いと、クーラーの放熱効果が悪くなり、冷却能力が弱くなります。周囲との壁の隙間は必ず10cm以上はなしてください。

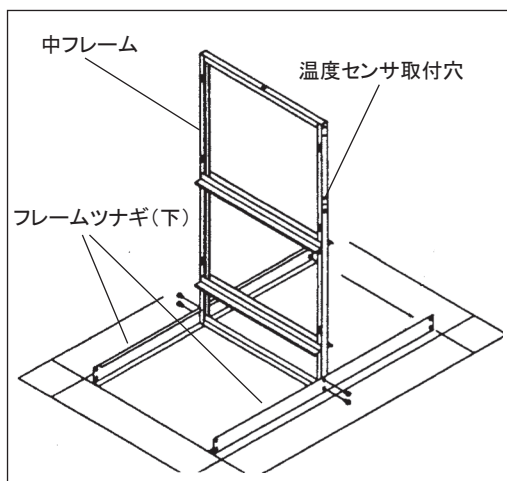
## 1.本体の組立

1) 設置する場所に保温シートを敷きます。



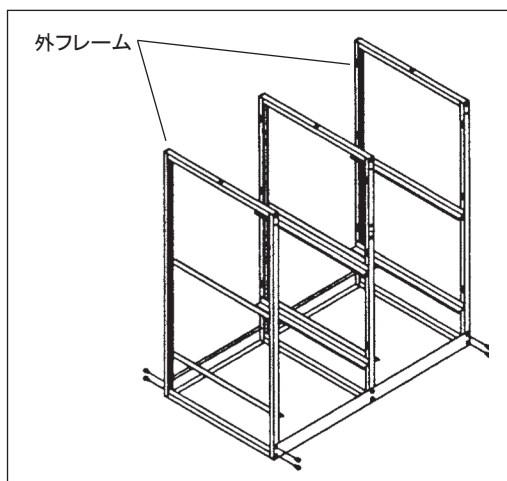
2) フレームツナギ(下)と中フレームを付属のネジで固定します。

注: 中フレームは温度センサ取付穴を正面に向けて組み立ててください。



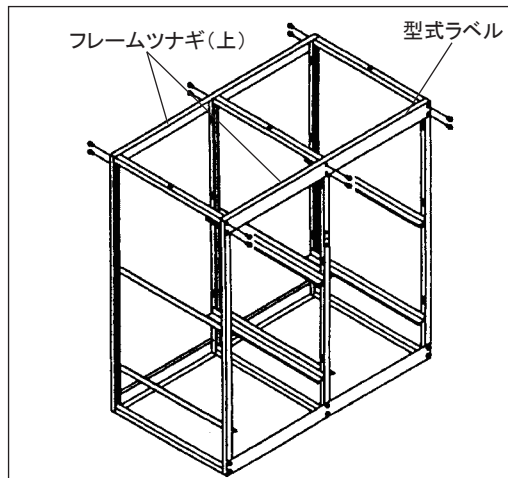
3) 外フレームをフレームツナギ(下)に付属のネジで固定します。

注: 棚受(L金具)は内側に向けて組み立ててください。

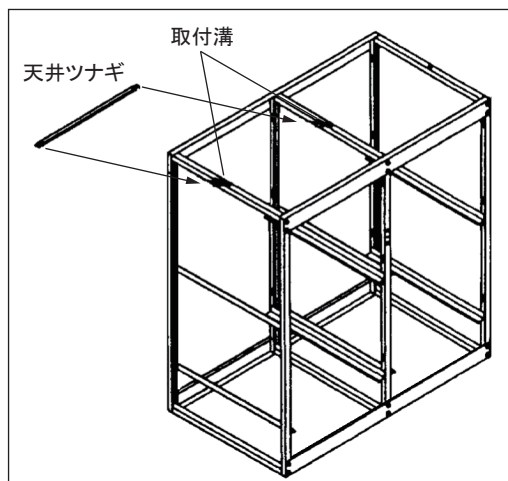


- 4) フレームツナギ(上)をフレームに付属のネジで固定します。

注: 正面側に型式ラベルの貼ってあるフレームツナギを取り付けてください。



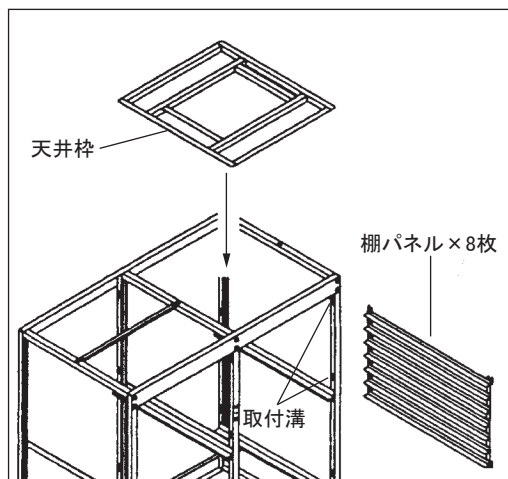
- 5) 正面から見て左側の天井に天井ツナギをフレームの取付溝に合わせて取り付けます。



- 6-1) 正面から見て右側の天井に天井枠を上方向からはめ込みます。

- 6-2) フレームの内側に棚パネルをフレームの溝に合わせて取り付けます。

棚パネル1枚に4か所取付用の爪が付いています。

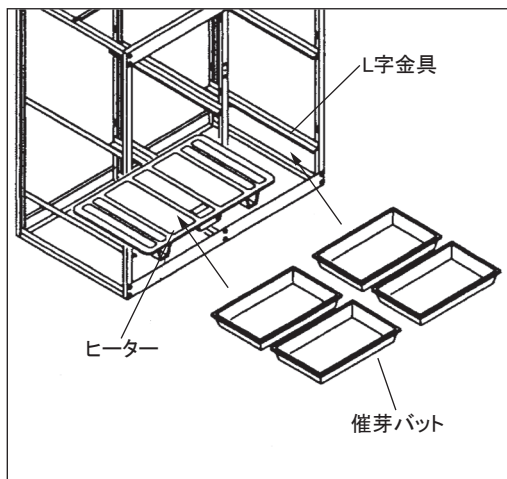


## 設置要領

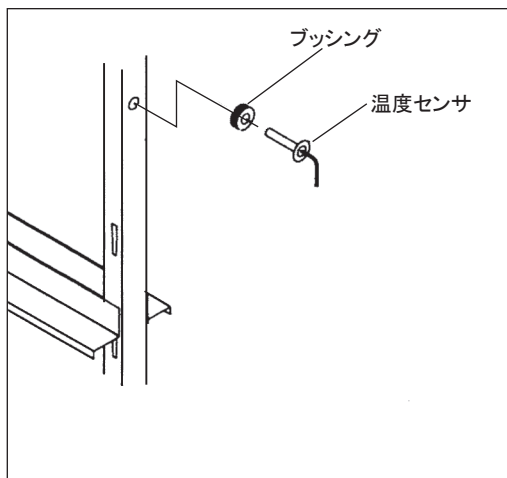
7-1) フレーム内にヒーターを設置します。

7-2) フレームの下段の受け金具(L字型)に  
催芽バットを設置します。

注: WR-60CL-SBBIにヒーター、催芽バットは  
有りません。

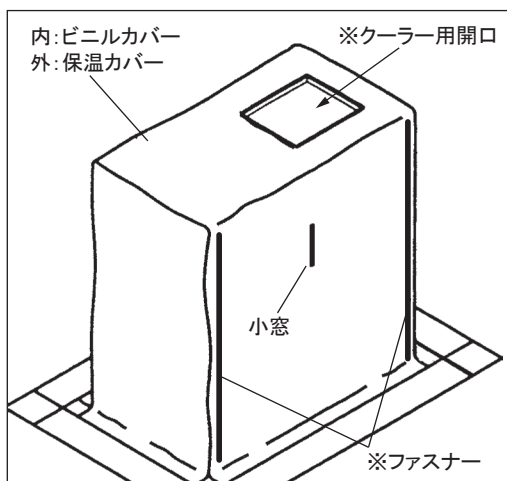


8) 電子サーモの温度センサを中フレーム  
に取り付けます。



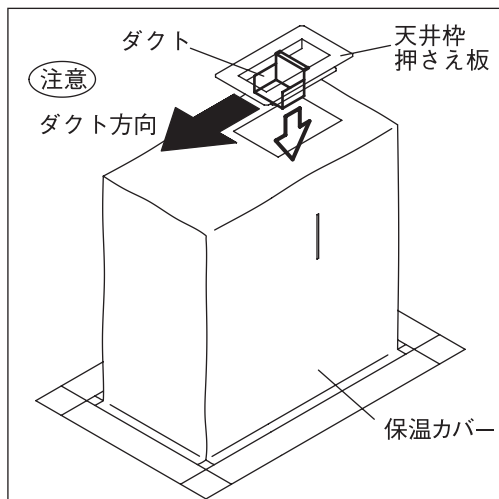
9) フレームにビニルカバー(透明)、保温カバー  
の順にかぶせます。

注: ビニルカバー、保温カバーの開口面(ファス  
ナー)が正面になるようにかぶせてください。



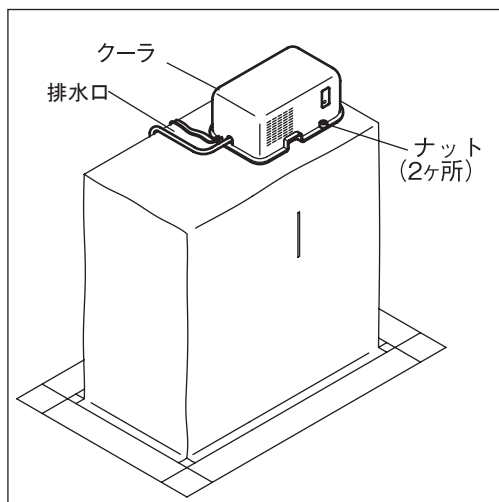


- 10) 「天井枠押さえ板」を保温カバーの上から開口部へ差し込みます。



- 11) 「天井枠押さえ板」のネジポスト（2ヶ所）へクーラユニットの取付穴が入る様に、クーラユニットを載せます。ネジポスト（2ヶ所）にナットを締め付けて固定します。

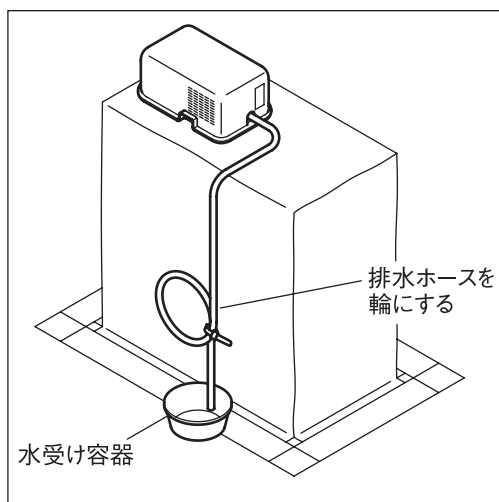
注:クーラーは図のように正面から見て排水口、電源コードが左側になるように設置してください。



### 警告

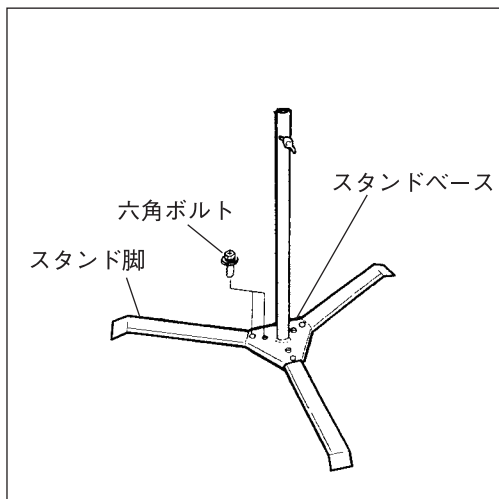
※クーラーの取付作業は、必ず3人以上で、安全を確認しながら、慎重に行ってください。

- 12) クーラー側面から出ているドレンパイプに、排水ホースを取付けます。水受け容器を用意し、排水を受けます。水受け容器よりも少し上の位置で排水ホースを輪にし、結束バンドで止めます。輪の大きさは約15cmにします。この輪の部分に水を溜めることにより内気と外気を遮断します。

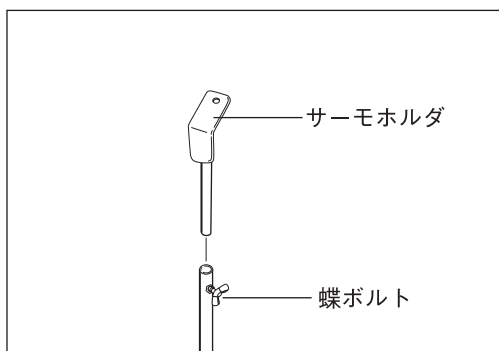


## 2.電子サーモの組立

13) スタンドベースにスタンド脚を六角ボルトで取付け固定します。

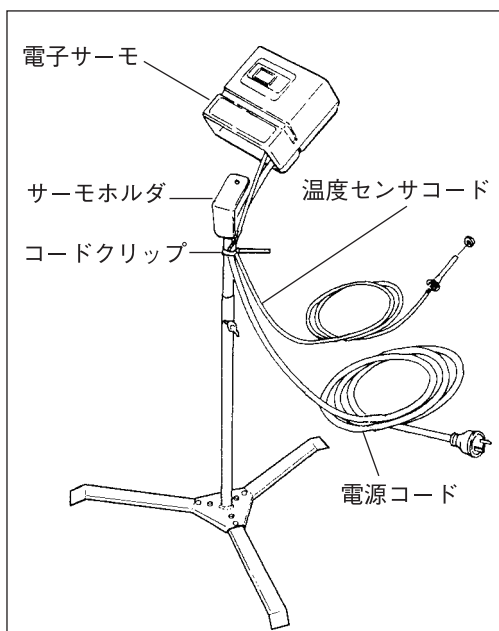


14) サーモホルダをスタンドベースに差し込み、蝶ボルトで固定します。



15) 電子サーモをサーモホルダに、差し込みます。

16) 温度センサコード、電源コードをコードクリップで固定します。



## アース（接地）について

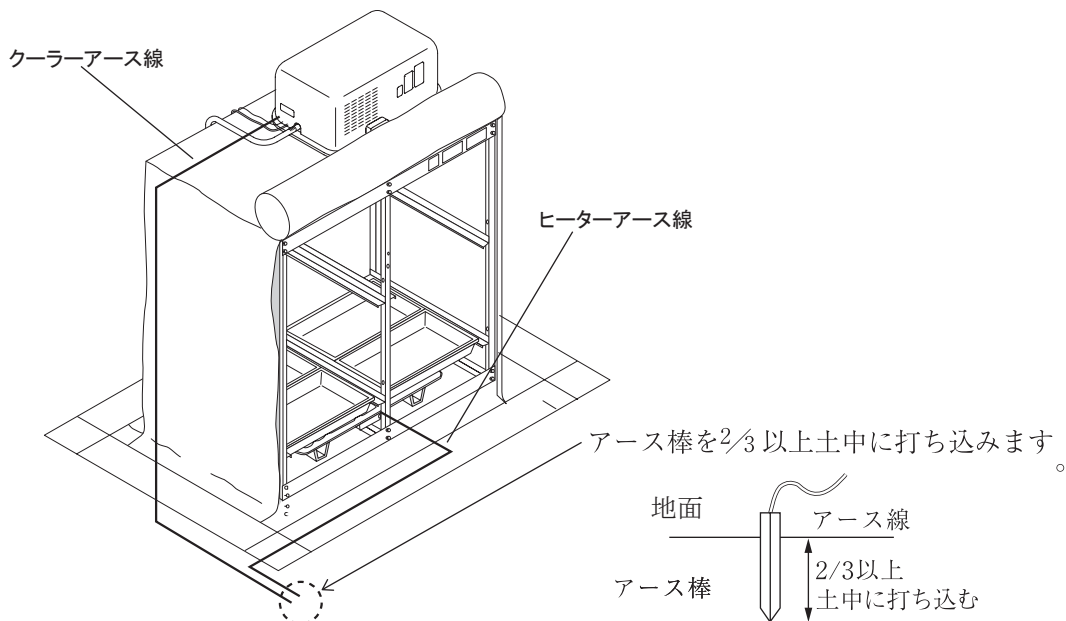


**警告**

**必ずアース（接地）して使用する。**

**【守らないと】** 機器が万一故障漏電のさい、感電するおそれがあります。

感電防止のために、電気を地面に逃がす役割を持ったアース棒付きアース線が附属されています。クーラーのアース棒、ヒーターをご使用の場合はヒーターのアース棒をそれぞれ、次の要領で確実に地中に打ち込みます。



## 電源 について



**警告**

**電源は必ず漏電ブレーカの付いた専用コンセントに接続する。**

**【守らないと】** 過熱して火災の原因になります。

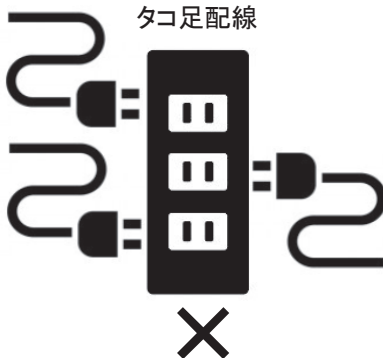
タコ足配線や、巻いたコードリールから電源をとってはいけません。コンセントやコードの容量不足は過熱して発火の原因になります。

漏電ブレーカー

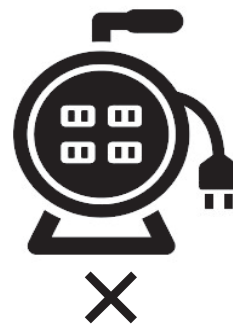
専用コンセント  
15A以上



タコ足配線



コードを巻いたままの使用



製造元 株式会社 啓文社製作所

〒731-0523 広島県安芸高田市吉田町山手 7 3 9-6  
TEL (0826) 43-1201 (代)  
FAX (0826) 43-1768  
<http://keibuntech.com/>

お客様メモ

購入日	年	月	日
購入店名			